

# 皆様から寄せられたご意見の要旨(案)

～ 沖縄県の交通の課題・将来の沖縄で大切にしたいことなどについてさまざまなご意見等が寄せられました ～

沖縄県では、次世代交通ビジョンおきなわ(仮称)策定に向けた第1回の意見募集を令和7年(2025年)11月14日から実施しました。令和8年(2026年)1月15日までに「次世代交通ビジョンおきなわ(仮称)策定特設ページ」の意見投稿フォームやオープンハウスで寄せられたご意見等を意見要旨(案)として取りまとめました。

## 【ご意見の整理方法】

意見要旨とは、寄せられたご意見を皆様の関心事に着目して整理し、沖縄県として受け取った内容として取りまとめたものです。少数の意見であっても皆様の関心事にはしっかり着目する必要があるため、意見の多寡にとらわれず整理しています。

## 1. 目指す将来像に関すること

### (1)個人の活動の尊重

#### ○家族・友人との時間

- 遊びや買い物、飲みに出かけるなど、家族や友人と共に過ごすことを大切にしたい

#### ○子ども・若者の移動

- 子どもたちが遠くても通いたい学校に通え、学校の友達と交流を深め、のびのびと生きられることを大切にしたい

#### ○余暇・娯楽

- スポーツや習い事、芸術鑑賞、興行、ボランティア活動などの余暇活動に自由に行けることを大切にしたい
- 図書館や博物館などで新しいことを知る、学びの機会を大切にしたい
- 自然にふれあうことを大切にしたい

#### ○多様性のある社会

- 高齢者や子ども・若者、女性、障害者、外国人も含めて、日常生活で気軽に、不自由なく移動できることを大切にしたい
- 様々な人が、自分らしく、生きがいを持って生きられることを大切にしたい

#### ○子育て世代の移動

- 子育てしやすく、また、仕事と両立できることを大切にしたい

#### ○免許不保持者の移動

- 車を運転できない人・歩いている人がかっこ悪いと思われない価値観や、免許がなくとも就職で不利にならないことを大切にしたい

### (2)地域の活性化

#### ○新たな文化

- 県民が沖縄の魅力や個性に関心を持ち、よりよい沖縄に変えていけることを大切にしたい

#### ○経済振興や格差是正

- 離島や地方を含む沖縄全体が経済格差なく成長し、所得が拡大していくことを大切にしたい

#### ○地域の自立性

- 自立した沖縄(地元の人が地元のために働いて暮らせる、食の安全保障など)を大切にしたい

#### ○観光の発展と共存

- 観光客と共存し、沖縄の観光が発展していくことを大切にしたい

### (3)安全・安心・健康の実現

#### ○日常生活での移動

- 必要な施設に確実に、経済的負担が少なく行けることを大切にしたい
- 決まった時間に効率的に行動でき、自分のリズムで移動・生活

活できることを大切にしたい

#### ○まちの安全

- 事故や事件がなく、安全・安心に生きられることを大切にしたい
- 明るいまちの雰囲気を大切にしたい

#### ○県民の健康

- 日常生活で身体を動かし、健康で、長生きすることを大切にしたい

#### ○地域コミュニティ

- 地域の住民同士での交流や助け合いを大切にしたい
- 今住んでいる地域に住み続けられることを大切にしたい

### (4)将来世代に残したいもの

#### ○多様性のある社会

- それぞれの人が自分の好きな移動手段を選べることを大切にしたい

#### ○歴史文化の尊重

- 沖縄の歴史や、緩やかな時間や各地域特有の文化、平和を尊重する心を大切にしたい

#### ○自然環境の維持

- 沖縄の自然環境を大切にしたい

#### ○地球環境の維持

- 地球環境を大切にしたい

## 2. 交通の現状に関すること

### (1)道路の混雑・使いづらさ

#### ○道路の混雑・移動時間

- 自動車利用率の高さや特定の道路への集中、信号待ち、路上駐車などにより渋滞が発生し、時間が読めない上、人やモノの移動時間が増える
- 移動に時間がかかることで、企業の活動や労働の効率が落ち、経済的な損失が出ていると感じる

#### ○運転のしにくさ

- 駐車場の不足や複雑な道路構造、バスレーンの分かりづらさなどのため、都市部で車の移動がしづらい
- 道路に凹凸がある、植栽が手入れされていない、道路標識・標示が見づらいなど、道路の老朽化が進んでおり、運転がしづらい

### (2)公共交通

#### ○バスやタクシーのサービスの不足

- 公共交通の路線や運行本数が少なく、また接続が悪いため、車に頼らざるを得なかったり、仕事や生活に支障が出たりしている
- 離島に行くとバスやタクシーが少ない地域が多く不便
- 公共交通の定時性が低く、時間通りに移動できない
- 居住地分散による公共交通の輸送効率低下や、運転手不足などで、公共交通のサービスが低下し使いづらくなっている
- タクシーが捕まりづらかったり、距離が短いと乗車拒否され

ることがあり、移動がしづらくなっている

- 公共交通の情報や乗り方が分かりづらく、慣れるまでが不便

#### ○公共交通の利用環境の悪さ

- 公共交通の利用環境(待ち環境や車内混雑、バリアフリー・キャッシュレス対応、運転手のマナーなど)が悪く、利用に抵抗を感じたり移動を躊躇してしまう

#### ○都市間の移動手段

- 近隣の移動手段はあるが、都市間を移動するための手段が少なく、広域的な移動がしづらい

### (3)歩行者自転車

#### ○歩きにくさ・自転車の利用のしにくさ

- 歩道が少ない、街灯が少なく暗い、路面状況が悪いことなどのために歩行者(特にこどもの通学)や自転車、電動カーブが使いづらい

### (4)安全安心

#### ○交通事故への懸念

- 交通の混在やマナーの悪さなどにより事故が多く、安全面が心配なので、移動に抵抗を感じてしまう

#### ○台風接近時の移動

- 台風接近時など公共交通機関が止まってしまい、帰れなくなってしまうことがある

### (5)観光

#### ○観光客の集中

- 観光客の集中や、一部の観光客の運転の不慣れ等により、渋滞や事故のリスクが増加している

### (6)環境

#### ○環境の悪化

- CO2排出などによる地球環境への影響が心配

### (7)移動に伴う諸課題

#### ○免許返納後の移動手段

- 公共交通を使うとなると移動の制約ができてしまうため、免許の返納がしづらい

#### ○移動のための出費

- 自家用車に依存しているため、維持費や燃料費の出費が大きい
- 公共交通の運賃が高く(特に乗継時)、出費や利用への抵抗が大きい
- 経済的な負担からタクシーは使いづらい

#### ○学校への送迎

- 公共交通やスクールバスがないことや安全面から送迎せざるを得ず、その時間が増える他、仕事の制約もでている

#### ○スプロール化

- 都市機能が分散しており、移動の負担が大きい

## 3. 将来の沖縄に関すること

### (1)趨勢的課題

#### ○道路混雑の悪化

- 今後ますます渋滞が悪化し、移動しづらくなったり、人命救助に影響が出てしまうことが心配

#### ○公共交通サービスの維持が困難

- 公共交通の利用者の減少や燃料費高騰、運転手不足により公共交通が減少し、自分の将来や周りが移動できなくなってしまうことが心配
- 公共交通が減少することで、地方の定住者が減少してしまうことが心配

#### ○インフラの老朽化

- インフラの維持管理が追いつかなくなり、老朽化が激しく進んでしまうことが心配

#### ○交通事故や治安

- 渋滞や道路の老朽化が事故の増加につながり、低所得者層の増加が治安の悪化につながってしまうことが心配

#### ○人口減少・少子高齢化

- より豊かな経済を求めて、若者や生産年齢層が県外に流出し、沖縄が高齢化してしまうことが心配
- 交通手段が確保されないことによる離島住民の減少や無人島化、国防への影響が心配

#### ○県民の健康状態の悪化

- 歩かない習慣や外出機会の減少、医療サービスの低下により、県民の健康が悪くってしまうことが心配

#### ○経済活動や所得水準の低下

- 移動効率が悪いことで経済発展を阻害したり、所得が減少することが心配
- 移動効率が悪いことで観光消費額が落ち、県内の観光業が縮小してしまうことが心配
- 県外資本が増加し、沖縄の企業の経営状況が悪くってしまうことが心配

## 4. ビジョン検討の進め方に関すること

### (1)コミュニケーション

#### ○意見聴取の対象

- バスが減っている地域や、地方や離島の住民(特に高齢者・女性・障がい者)、車がない世帯の意見を聴いてほしい
- 学校や SNS を通じて意見を集めるなど、若い人や教員の意見を聴いてほしい
- 子育て世代の意見を聞いてほしい
- 現役世代や経済界の意見を聴いてほしい
- 通勤に車を使わざるを得ない人の意見も聴いてほしい
- 貧困層の意見を聞いてほしい
- 県外から訪れる人の意見を聴いてほしい

#### ○意見収集

- 意見の投稿にインセンティブ(謝礼)があったり、他の沖縄県の取組と連携した方が意見が集まるのではないか
- 回答を必須にする、郵便受けにチラシを投函する、新たなアイデアを出しやすい場を設けるなどして、様々な意見やアイデアを集めてほしい
- SNS で意見を募集する、公共施設に意見箱を設置する、匿名で意見を集めるなど、県民が気軽かつ好きなタイミングで意見を投稿できるとよい

#### ○対話

- 平日夜や週末を含め、行政や議員とリアルタイムに意見交換できる場や、県民同士の声を聴ける場を設けてほしい
- 引き続きオープンハウスのようなかたちで直接対話できるとよく、駅やバス停、居酒屋や老人会等で意見を聴くことも考えられるのではないか
- オープンハウスは「沖縄県」が実施していることを強調した方が、警戒されないのよい

#### ○広報

- 意見を踏まえてどのような検討をしているのか分かりやすく、こまめに情報発信してほしい
- マスメディアや公共施設、免許センターでの広報、引き続きのオープンハウス開催などを通じ、幅広く広報・情報提供し

## 5. その他に関すること

### (1)個別施策に関する意見

#### ○公共交通

- 公共交通機関において、さまざまな電子決済サービスが利用できるようにしてほしい
- 運転見合わせ時の情報提供が遅いと感じる

#### ○環境の悪化

- CO2 排出により環境への負担が増加することが心配
- 自動車依存が続き、廃車処分に伴う環境負荷が増加することが心配
- 交通整備が無秩序な開発や自然環境の破壊を助長するのではないかと心配

### (2)社会情勢変化に伴う課題

#### ○人口減少・少子高齢化

- 人口減少により、車利用が減少し、渋滞や事故などの課題は自然と解決するのではないか
- 公共交通が減少し、自家用車の利用や都市部への集中がさらに加速して交通渋滞などの諸問題が悪化することが心配
- 急激な人口減少と公共交通・物流サービス低下の負のスパイラルにより、生活の質の低下や地方の衰退、治安の悪化につながることを心配
- 高齢化が進み、高齢者の事故が増加してしまうことが心配
- 多疾患併存など高齢者の健康が悪化し、外出が減少、まちの活力が低下していくことが心配

#### ○デジタル・自動運転・新しいモビリティサービス

- LRT や自動運転、小型モビリティなどの新しい交通の導入により、却って渋滞や事故が増加したり、利便性が下がることを心配
- 環境に優しいクルマの導入が義務化され、レンタカー業が圧迫されることが心配
- 移動負担の削減のため、リモートワークやリモート授業が普及することを期待
- デジタル化・モビリティ技術の進展により、自動運転やライドシェアなど効率的な新たな移動手段が提供されることを期待

#### ○対話

- してほしい
- オープンハウスのような対面形式だけでなく、オンラインで説明が聞けるとよい
- 県民を巻き込んだ大規模なイベントやお祭りを実施したり、既存のものど連携してほしい
- 米軍関係者など、交通を使う多様な関係者に周知・広報してほしい

#### ○設問内容

- 平日夜や週末を含め、行政や議員とリアルタイムに意見交換できる場や、県民同士の声を聴ける場を設けてほしい

### (2)意見の反映

#### ○反映

- 意見がきちんと反映されるのか不安
- 少数派の意見や少数派の良い点も汲んで欲しい

#### ○受け止め

- 寄せられた県民の意見を真摯に受け止め、対応してほしい
- 多くの県民は鉄軌道を利用したことがないなどの回答者の特性を踏まえて検討してほしい

### (3)複数案・比較評価

#### ○複数案

- 公共交通の主要路線のサービスを向上させ、それとパークアンドライドを組み合わせるなど、役割分担ができるとよい
- 車を減らす、混雑ピークをずらすための施策が考えらえるるとよい
- 民間が輸送サービスを提供できない地域では、行政がオンデマンド交通などを運行する、民間の送迎と組み合わせるなどできるとよい
- 先進事例を基に策を検討してほしい
- 自動車に依存しない交通体系が実現できるとよい
- 観光客が乗りたいと思う、魅力ある交通手段が実現できるとよい

#### ○対話

- モノレールの延伸・車両の増備や拠点を結ぶ公共交通(鉄軌道など)の整備を期待している
- 公共交通に関する意見を送る先を教えてほしい

#### ○その他の施策

- 沖縄本島ツインゲートウェイ構想を進めてほしい
- 交通以外の電気・水道・ガス・通信・治水のインフラに力を入

- AI や量子コンピュータ等により雇用形態が変わったり、雇用が減少することが心配

#### ○移住やオーバーツーリズム

- 観光客急増による、交通混雑や、公共交通でのトラブル、交通事故の多発、治安の悪化、県民に必要な施設の減少が心配
- インバウンド観光客や外国からの移住者の増加により、第二言語への対応が求められ、公共交通の担い手の負担や不足につながることを心配
- インバウンド観光客増加により日本人観光客が減少し、世界情勢による影響を受けやすくなることを心配
- 外国等からの移住者が増加し、交通事故などのトラブルにつながることを心配

#### ○交通需要の増加

- 体験することの付加価値の増加や、移動コストの削減などにより、ますます移動する人が増えて混雑してしまうことが心配

#### ○エネルギー価格・物価変動

- ガソリン代や公共交通の料金高騰や EV 車導入義務化などにより、出かけづらくなったり、経済格差や貧困層が拡大してしまうことが心配

#### ○都市構造

- 都市部の人口の急増や地価の高騰により、都市部に住めなくなってしまうことが心配
- 基地の返還による都市の変化も見据える必要があるのではないか

#### ○気候変動

- 地球温暖化による気候変動によって災害が激甚化し、災害時の交通手段がなくなってしまうことが心配

#### ○国際紛争への懸念

- 近隣諸国との有事の際の生活が心配

#### ○対話

- ほしい
- 比較評価
- 税金が無駄にならないよう、持続可能かつ費用対効果が高い施策が選ばれるとよい
- 責任と科学的根拠があるとともに、効果のある施策を推進してほしい
- 公共交通単体では採算性が確保できないことを前提に、交通の役割を検討してほしい
- 多様な視点を踏まえて検討を進めてほしい

### (4)決め方

#### ○決め方

- 県の上層部や有識者が一方的に決めるのではなく、様々な人が議論に加わり、公正に決めてほしい

### (5)計画の位置づけ

#### ○他計画との連携

- 各種都市政策と連携し、都市全体として検討を進めてほしい
- 航空や船舶等の交通も重要であるため、どこで議論するかを明確にほしい

#### ○実効性

- これまでの計画の進捗を明確にするとともに、本ビジョンについても目標時期や進捗を明らかにしてほしい
- 八方美人的なビジョンではなく、実効性のあるビジョンとしてほしい
- 地域や業界横断となって進められるビジョンとしてほしい

### (6)体制・スケジュール

#### ○スケジュール

- 早期にかつ着実に課題解決ができるように進めてほしい

#### ○体制

- 市町村と連携しながら、県がリーダーシップをとって進めてほしい

#### ○対話

- してほしい

#### ○比較評価

- してほしい

### (2)その他

- 誹謗中傷等